

平成 28 年 11 月 悪性神経膠腫に対する WT1 ペプチドワクチン免疫療法を開始します。

悪性神経膠腫に対する WT1 ペプチドワクチン免疫療法

神経膠腫(グリオーマ)は脳腫瘍の中でも治療が難しい腫瘍の代表的な疾患です。その悪性度は WHO によりグレード 1 から 4 まで分類されており特にグレード 3 及びグレード 4 (膠芽腫)は悪性神経膠腫と総称され、世界標準の治療を行ったとしても完治させることが非常に難しいのが現状です。

大阪大学医学部脳神経外科では、同学部癌ワクチン療法学教室との共同研究として、悪性神経膠腫に対する WT1 ペプチドワクチン免疫療法の基礎研究及び臨床試験を行ってまいりました。これまでに約 80 名の再発悪性神経膠腫の患者さんがこの臨床試験を受けられ、本療法の有効性及び安全性が確認されています (Izumoto S, Kagawa N, Yoshimine T, et al., J Neurosurg 2008; 108:963-71)。

また、初発の悪性神経膠腫に対しても、放射線および経口抗がん剤(テモダール)を使用した標準的治療に、WT1 ペプチドワクチン免疫療法を加えた治療の安全性と有効性が確認されました (Hashimoto N, Kagawa N, Yoshimine T, et al. Cancer Immunol Immunother. 2015; 64(6):707-16)。

これらの臨床試験の終了にともない、本療法の新たな患者さんの登録・治療は一旦中止していましたが、この度更に抗腫瘍効果を高めるべく本療法を改良し新たな臨床試験を開始することとなりました(「3種混合 WT1 ペプチドワクチン免疫療法(WT1 Trio)」)。

ただしすべての患者さんが対象になるわけではなく適応のための条件が幾つかありますので、主治医の先生を通してお問い合わせ、もしくは、紹介状とともに当科の香川・有田・藤本の外来にお越しください

臨床試験

・希少悪性腫瘍に対する 3 種混合 WT1 ペプチドワクチン免疫療法(WT1 Trio)の臨床試験；再発・進行期の悪性神経膠腫すなわち WHO グレード 3 及び 4 (膠芽腫)が対象疾患のひとつに含まれています(平成 28 年 11 月から開始予定です)。

・初発膠芽腫に対するテモゾロミド併用 3 種混合 WT1 ペプチドワクチン療法 第 II 相臨床試験；現在準備中です。